

オランダと日本の
コラボレーションプロジェクト



Mark
to the
MUSIC

音楽と精神の
インスピレーション・
プログラム

2023年12月16日
どようび

カトリック世田谷教会
がまぼこ兵舎 下北沢
ごぜん10じからごご1じ



スペシャルゲスト

ヨレイン・ポスティムス（ミュージアム・オブ・マインド）
音楽 高野 寛 齋藤 紘良 安永 哲郎 藤村 頼正
DJ ネットルトン タロウ

ワークショップ について

「Mark to the Music（マーク・トゥー・ザ・ミュージック）」は、アムステルダム
の音楽イベント「Amsterdam Dance Event
2022」で行われたアート・プログラム。
ヨレイン・ポスティムス氏がガイドとなり、
アンビエント音楽を聴き、心を解放しながら
表現することに焦点をあてた実践です。

今回、日本とオランダ初のコラボレーション
版では、アトリエ・エーにつながるのある音
楽家4名もライブセッションで参加します。
[電子楽器・機材提供：Roland]

アトリエのみんなで、音の振動や空気の流れ
を想像してみたり、自分の感覚を楽しみなが
ら、直感的な表現を探求していきます。

静かな瞑想で緊張を和らげ、ゆっくりと気づ
きをうながすことで、いろいろな感じ方を
発見したり、自分らしい楽しみ方を見つけ、
心や身体を解放し、軽やかで自由な表現の
場をともにつくります。

ナビゲーター



JOLIEN
POSTHUMUS

ヨレイン・ポスティムス

ミュージアム・オブ・マインド
マインドフルネストレーナー兼メンタルヘル
ス・プログラム・マネージャー

2017年よりオランダ・アムステルダムとハールレム
を拠点に「美術館やアート・スペースでのマイン
ドフル・プログラム」の研究と実践を行っている。
そのほかオランダの文化セクターにマインドフル
ネスの実践を導入し、ヨーロッパ各地の美術館やギャ
ラリーと協力し、講演活動も行う。トラウマやニュー
ロダイバーシティに関連した実践を専門とし、ゴ
ッホ美術館でも瞑想プログラム開発に関わった。

本ワークショップは、2001年より現代アートの
教育事業を手掛けるNPOアーツイニシアティヴ
トウキョウ、アトリエ・エー、ミュージアム・
オブ・マインド(オランダ)のコラボレーションプ
ロジェクト[CAT]の一環で企画されました

音楽家・アーティスト



HIROSHI
TAKANO

たかの ひろし

高野 寛

ミュージシャン

1964年生まれ。大学生の頃から当時は珍しかった宅録による創作を開始。1988年、高橋幸宏プロデュースによるアルバム「hullo hulloa」でソロデビュー。2013年4月から京都精華大学ポピュラーカルチャー学部・音楽コース特任教授に就任、2018年4月～2023年3月に同学部客員教授を務めた。



YORIMASA
FUJIMURA

ふじむら よりまさ

藤村 頼正

ドラマー

筑波大学芸術専門学群を卒業後、古くからの友人たちで組んだバンド、シャムキャッツで2009年に1stアルバムをリリース。その後、地道でDIYな活動を続けながら活動の幅を拡げていったが、2020年に解散。その後はレーベルTETRA RECORDSを運営しつつ、主にSAGOSAIDのドラマーとして演奏活動をしている。



KORYO
SAITO

さいとう こうりょう

齋藤 紘良

作曲家/しぜんの国保育園理事長

専門は子どもが育ち暮らし老いて死んで次に向かうための環境や文化を考えること。保育施設の運営、500年続く祭りの創造、寺院の再興、映像番組への楽曲提供、雑貨と電子楽器を駆使したパフォーマンスなどを行なっている。発表音源に『MIRAGE』『narrative songs』(CD,spotify他)、著書に『すべて、こども中心。』(カドカワ)などがある。



TETSURO
YASUNAGA

やすなが てつろう

安永 哲郎

ミュージシャン

エレクトロアコースティックデュオminamoのメンバーとして世界各国でライブツアーや音源をリリース。各種イベント企画制作をはじめ、外務省「日本ブランド発信事業」採択による南米での音楽ワークショップ、アルスエレクトロニカ、KAAT神奈川芸術劇場、金沢21世紀美術館でのプロデュースワーク等、音楽とアートにまつわる場の創生に関わり続けている。

主催 文化庁
NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ[AIT]

企画 ディア ミープロジェクト by AIT

企画協力 アトリエ・エー
ミュージアム・オブ・マインド

協力 資生堂カメラファンド
オランダ王国大使館

協賛 ローランド株式会社
リキテックス
株式会社MOGU

